

農学部における情報処理教室

農学部 徳田 勝

1 はじめに

農学部においての情報処理教育は、これまで主に情報処理センター分館を使って行ってきました。情報処理教育は演習が中心となるため授業時間外の自習も重要となります。授業のない時間を利用した自習を行うには農学部内に情報処理教室が必要であると私は常々考えていました。また、最近の就職活動における情報収集にはインターネットが不可欠となってきましたが、これまで農学部で学生が自由に使える電子メールやインターネット利用のためのコンピュータは事務室横の5台しかなく、いつも混雑していました。こうした流れから、平成12年4月に農学部にも新たに情報処理教室を導入することができました。今回、その概要について紹介します。

2 情報処理教室概要

2.1 ハードウェア構成

情報処理教室の場所は農学部B棟4Fの403教室です。サーバー（NEC製 Express5800サーバー）1台と端末（高岳製 MiNT ACC agile WBT）41台、外部入出力機器付き端末4台です。外部入力機器としては、FDD、CDROM、MO(640M)、zip、CD-RWを用意しています。また、レーザープリンタ4台を導入しました。これらはネットワーク接続によりすべての端末から利用可能となっています。図1に情報処理教室の写真を示します。教室はエアコン完備で、講義用に前方に大きなホワイトボード、また後方には掲示板があります。図2にネットワーク構成を示します。図3にサーバー、端末の配置を示します。

2.2 ソフトウェア構成

情報処理教室で使用しているOSはWindows2000です。図4に端末でのログインしたデスクトップの様子を示します。現在のところ、使用できるアプリケーションはOffice2000の他、電子メール（ALmail）、ターミナルエミュレーター（Tera Term Pro）、FTP（FFFTP）、コンパイラ（Cygwin）等を準備しています。これらの管理は学部ネットワーク委員会が行っており、利用者への連絡は教室の掲示板の他、デスクトップ上のメモ帳やBBSと通じて行っています。個人の使用できるハードディスクの容量は学生10Mバイト、教官50Mバイトとしています。



図 1 : 情報処理教室

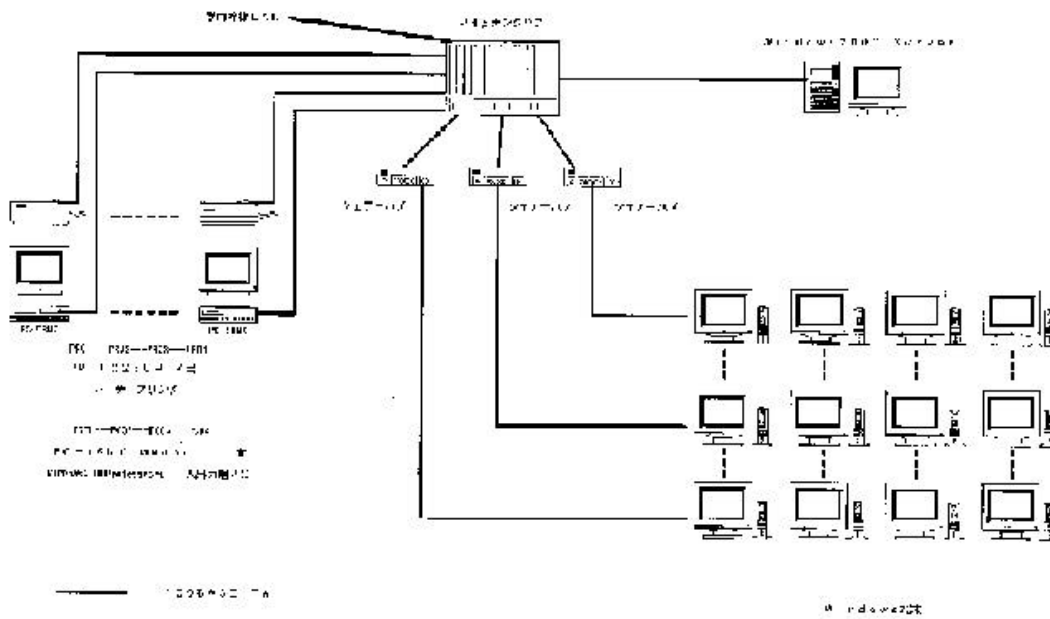


図 2 : ネットワーク構成

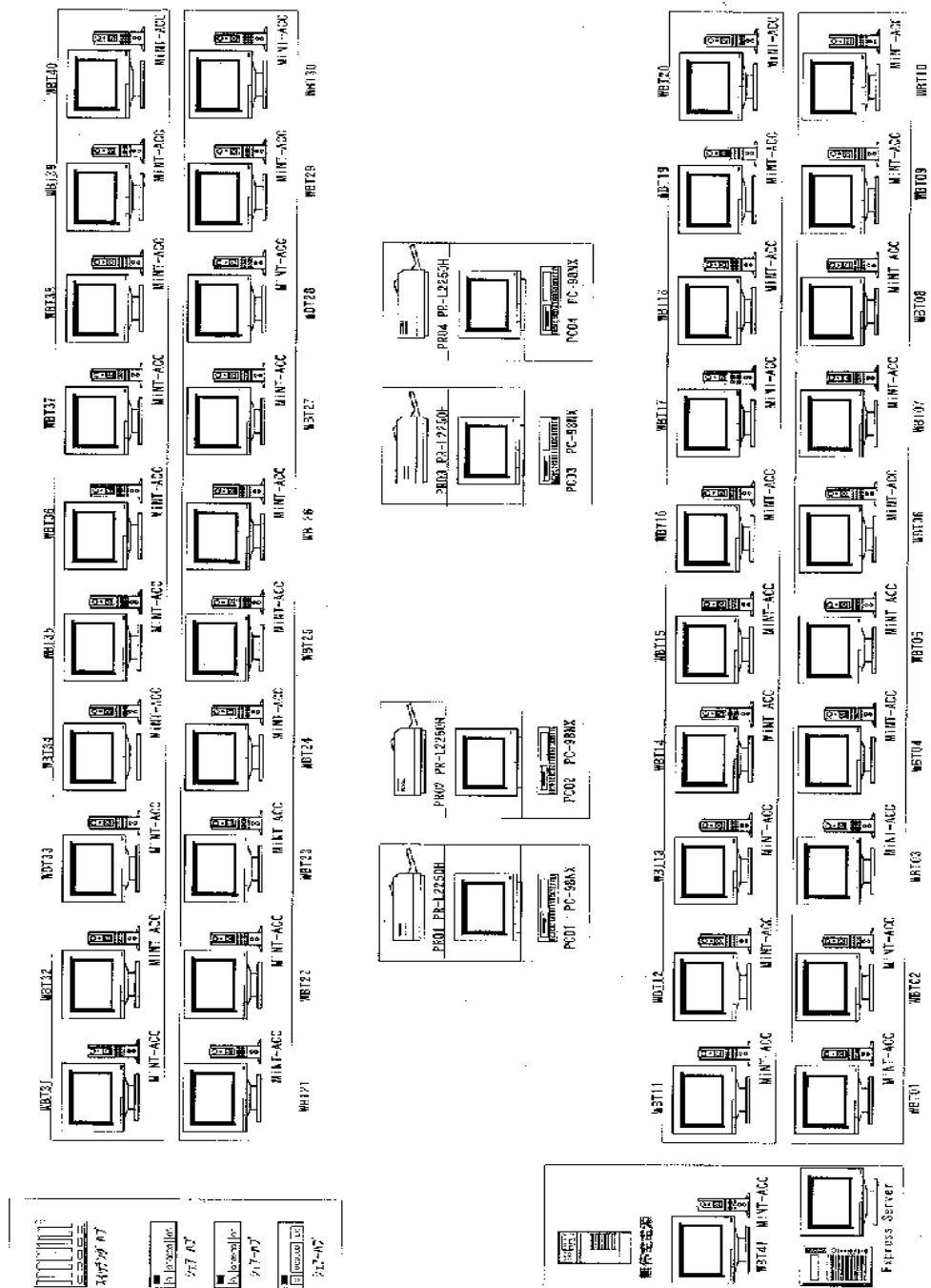


图 3： 端末配置

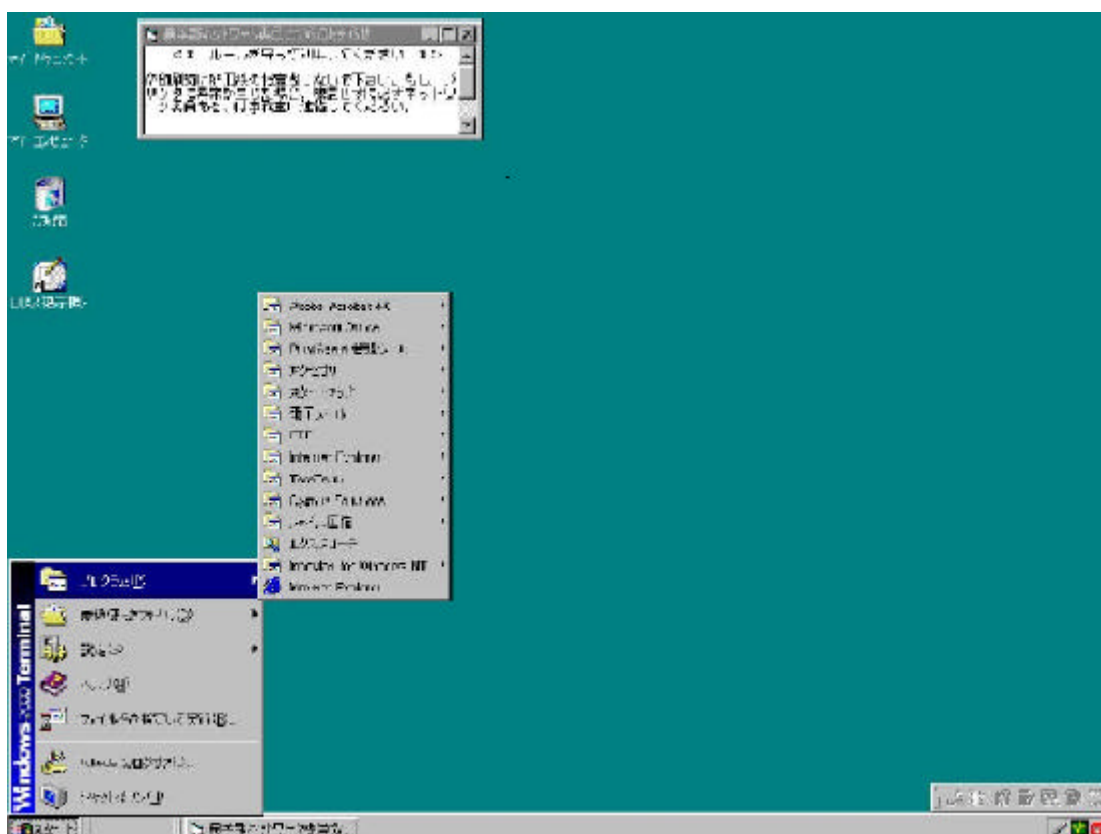


図 4: デスクトップ

3 利用に関して

情報処理教室の利用は、農学部が開講する講義、演習およびゼミ、並びに農学部在籍する学生、又は自然科学研究科博士課程に在籍する農学系学生の研究教育を目的とした、自習、又は就職活動に限ります。利用の優先順位は以下の通りです。

- ・農学部が開講する専門科目のうち、情報科学に関する講義等
- ・農学部教官が担当する専門基礎科目および教養言論(自然)のうち、情報科学に関する講義等
- ・学生の自習等

学生が自習等で利用する場合は、総合情報処理センターから発行された利用者番号を保持している必要があります。

利用できる時間は、午前9時から午後4時50分までとします。但し、学生が自習等に利用できる時間は、講義等を実施していない時間とします。なお次に定める日は利用できないものとします。

- ・土曜日および日曜日
- ・国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- ・農学部情報ネットワーク委員が指定する日

4 おわりに

まだ、情報処理教室を導入して半年足らずしか経過していないので、あまり、この教室の存在を知らない学生さんが多いかもしれません。しかし、今後農学部に情報処理教室があることで、情報科学等の教育以外にも、実験のデータ整理、演習等での計算などに気軽に、そして有効に利用していただきたいと考えています。